

令和5年度MieMuの活動と運営 全体の内部評価概要

1 はじめに

- (1) 「令和2年度～5年度MieMuの活動と運営の各戦略・戦術」では、博物館の3つの使命『①三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす』、『②学びと交流を通じて人づくりに貢献する』、『③地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する』を達成するために、その目標や戦術に応じたアウトカム（成果）、アウトプット（実績）を設定している。
- (2) 今回、内部評価として、令和2年度から令和5年度までのアウトカム（成果）をもとに「ビジョン」及び「令和2年度から令和5年度までの4年間の作戦目的」の達成状況等に関する検証・評価を行った。

2 内部評価における検証・評価の概要

(1) 「戦略目標 三重の魅力を知ってもらう A-1（調査）」の各戦術について

ア) 「(戦術) 1-1」・・・達成度4

研究成果公表数は令和3年度以降減少傾向であるが、20回と目標値を上回ったため「4. 達成できた」と評価した。

イ) 「(戦術) 1-2」・・・達成度1

データベース閲覧回数が1,896回であり目標値を大きく下回ったため「1. 達成できていない」と評価した。なお、資料登録数は、人文系資料で769点、自然系資料で5,330点、計6,099点の登録ができ、目標値を上回った。

ウ) 「(戦術) 1-3」・・・達成度4

毎月第1月曜日に収蔵庫内の定期清掃を実施し、毀損資料の発生件数が0件であった。目標値を達成したので「4. 達成できた」と評価した。

◎ 「戦略目標 三重の魅力を知ってもらう A-1（調査）」について・・・達成度4

上記ア)～ウ)の検証・評価などをもとに、達成度を4とした。

(2) 「戦略目標 三重の魅力を知ってもらう A-2（展示）」の各戦術について

ア) 「(戦術) 2-4」・・・達成度3

展示観覧者数は、52,996人と目標値（51,300人）の103.3%であったため「3. どちらかという達成できた」と評価した。

イ) 「(戦術) 2-5」・・・達成度2

目標値61,700人のところ、観覧者数61,310人であり全企画展では目標人数を達成したものの、移動展示では目標を下回った（39.7%）ため「2. どちらかという達成していない」とした。

◎ 「戦略目標 三重の魅力を知ってもらう A-2（展示）」について・・・達成度4

基本展示と企画展示を総合した満足度が76.3%と目標値を上回り、令和4年度よりも3.7%増加しており「4. 達成できた」と評価した。

(3)「戦略目標 三重の魅力を知ってもらう A-3 (展示)」の各戦術について

ア)「(戦術) 3-6」・・・達成度1

伊賀市の史跡旧崇広堂を会場としてユニークベニユウの考え方を取り入れた展示を行ったが、目標値 2,700 人に対して利用者が 1,071 人であったため「1. 達成できていない」と評価した。

イ)「(戦術) 3-7」・・・達成度4

58 団体 2,723 人の利用があり目標値の 1,120 人を大幅に超えたため「4. 達成できた」と評価した。

◎「戦略目標 三重の魅力を知ってもらう A-3 (展示)」について・・・達成度4

移動展示単独の満足度は目標値に達していないが、学芸員講座と合わせた総合した満足度は 81.4%と高く「4. 達成できた」とした。

(4)「戦略目標 館を利用してもらう B-4 (展示)」の各戦術について

ア)「(戦術) 4-8」・・・達成度4

会員向け行事や、グループ活動、学芸員の調査研究補助活動等を定期的の実施し、目標値 (1,700 人) を上回る 1,799 人の利用者があったため「4. 達成できた」と評価した。

イ)「(戦術) 4-9」・・・達成度2

コーポレーション・デーの実施団体は 2 団体となり、入館者数は 4,302 人と目標値 (5,000 人) に達しなかったため「2. どちらかという達成していない」と評価した。なお、企業独自で立てた集客目標数は 2 団体とも上回ったとのこと。

ウ)「(戦術) 4-10」・・・達成度4

目標値 (240 人) を超える 433 人の利用があったため「4. 達成できた」と評価した。

◎「戦略目標 館を利用してもらう B-4 (展示)」について・・・達成度4

連携事業 8 件のうち 7 件が満足と回答があったことから「4. 達成できた」とした。

(5)「戦略目標 館を利用してもらう B-5 (経営)」の各戦術について

ア)「(戦術) 5-11」・・・達成度1

「MieMu@ほーむ」の Web ページアクセス数が 3,537 回と目標値 (4,800 回) を達成できず、令和 3 年度から減少傾向であるため「1. 達成できていない」と評価した。

イ)「(戦術) 5-12」・・・達成度4

「調べ方」を学ぶことをテーマとした事業を 7 講座、14 回実施した。目標値 (160 人) を上回る 269 人の参加があり「4. 達成できた」と評価した。

◎「戦略目標 館を利用してもらう B-5 (経営)」について・・・達成度2

県政 e モニター制度を利用して三重県、愛知県、岐阜県の 1,000 名からアンケートの回答から、「三重県総合博物館を知っている」と回答した 314 名に「ホームページの知りたい情報の見つけやすさ」について回答してもらったところ、「見つけやすい」と回答した割合が 65.0%であり、目標値 (75.0%) を達成できなかったため「2. どちらかという達成できていない」と評価した。

(6)「戦略目標 館を利用してもらう B-6 (展示)」の各戦術について

ア)「(戦術) 6-13」・・・達成度4

社会情勢や利用状況に併せて適宜運用方法を変更し、利用機会を増やしてきた。目標値 (22,500 人) を上回る 32,345 人の利用者がおり「4. 達成できた」と評価した。

イ)「(戦術) 6-14」・・・達成度4

4事業16回の事業に356人の参加や、企画展関連事業と大学連携事業として実施した5事業9回の事業には953人の参加者があった。目標値(1,200人)を上回る計1,309人の利用があったことから「4. 達成できた」と評価した。

ウ)「(戦術) 6-15」・・・達成度2

課題探究学習の時間等にて、高等学校(3校)ヘティーチングアシスタントとして、小学校(1校)へ外部講師として関わり1,108人の児童生徒を支援した。目標値(1,200人)を下回ったため「2. どちらかというとは達成できていない」と評価した。

◎「戦略目標 館を利用してもらう B-6(展示)」について・・・達成度4

満足度は、令和4年度より1.2%増加して85.9%であった。アンケート回答者の大半を占める12歳以下の高評価が全体の満足度を押し上げることにつながっている。目標値を上回ったため「4. 達成できた」と評価した。

(7)「戦略目標 館を利用してもらう B-7(経営)」の各戦術について

ア)「(戦術) 7-16」・・・達成度4

取組方針や改善状況の確認、改善策の協議も行えたため「4. 達成できた」と評価した。

◎「戦略目標 館を利用してもらう B-7(経営)」について・・・達成度3

令和5年度の全体会議等で抽出・共有した課題、外部評価での指摘事項について四半期毎に進捗状況の管理、改善に取り組み、21件の課題に対して18件の改善等を行った。

(8)「ビジョン」について・・・達成度1

4年間のeモニター制度(アンケート)で「三重県には歴史的資産等があり、愛着を感じることができる」と回答した人の実績値は20.8%~45.4%で目標値を下回っているため、関心を持っていない人にも向けて積極的にPRを行う。

(9)「令和2年度から令和5年度までの4年間の作戦目的」について・・・達成度3

4年間のeモニター制度で「『三重の良さ』や『三重の魅力』を感じた」と回答した人の年間平均値が78.6%で目標値を上回った。ただ42.7%が「当館に行ったことがない」と回答されているため、広報活動に努める。